

広報つばめ

Tsubame 

2023
12
No.392

特集

私たちのまちの 消防団



オレたち
サイコーらろ？



①方面隊訓練（放水）
②水防訓練（土嚢積み）
③救急救命講習

私たちのまちの消防団

「安全な暮らしの裏側には消防団員の存在が欠かせない」
まちの安全を守っている地域住民の団体を知っていますか？
初めは周りから誘われて入った消防団。いつの間にか、使命感に心が満ちてくる。
私たちが日々、安全に暮らせている裏側には、近所にいる消防団員の存在がありました。



消防団の活動

■災害出動

火災・風水害・地震などが発生した際、災害現場で活動します。初期消火や水害時は土嚢積みなどの対応をします。



■火災予防活動

火災予防のため地域内を巡回したり、地域住民への防火指導などを行います。

■教育訓練

定期的に規律訓練・消防操法訓練・水防訓練・応急手当講習会・新潟県消防学校での各種教育を受けています。

■点検整備

訓練とは別に月に1〜2回、機械器具やポンプの点検整備を行っています。

■地域の催し

地域のお祭りや各種行事の警備などを行います。

消防団年間行事スケジュール

4月 春季火災予防運動 団員辞令交付式

5月 大河津・長岡・越路地区合同水防訓練

6月 県消防協会校外講習

7月 燕市総合防災訓練

8月 消防大会・ポンプ操法競技会

9月 消防防災・救急フェア

10月 燕市消防演習

11月 秋季火災予防運動

12月 燕市消防出初式

3月

2月

1月

4月



この他、地域行事にも参加しているよ。

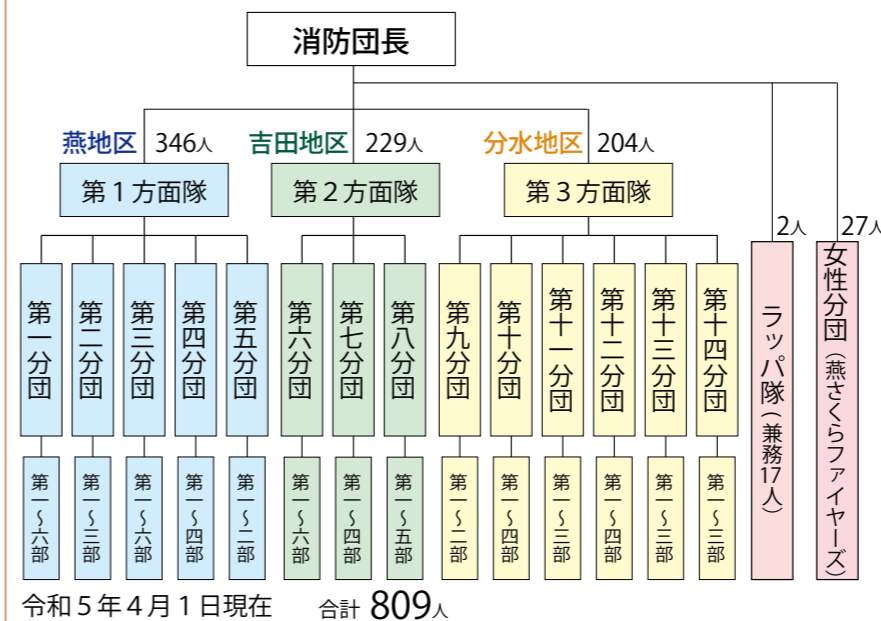
燕市消防団マスコットキャラクター「つばまる」

消防団とは

「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき、自らの意思で参加する地域住民で組織されている非常備の消防機関です。
その構成員である消防団員は、他の本業を持ちながら、消防や防災の活動を行っています。

燕市には、4月1日現在809人の消防団員が活動しています。団員は居住地や勤務地に応じて、地域単位に分かれた各分団の部に所属し、活動しています。近年は団員数が減少しており、燕市全域の安全を守るためには、団員数の維持が不可欠です。

燕市消防団組織



消防団員の身分

消防団員はその任務の重要性から、身分は「非常勤特別職の地方公務員」です。

消防団員の処遇

■報酬
消防団員は、階級に応じた年額の報酬と水害・火災、訓練などの職務に従事した場合に、出勤報酬が支給されます。

■補償

消防団活動により、万一けがなどをした場合には、治療費などが補償される制度があります。

■退職報償金

多年にわたり活動して退団した場合に、在籍年数に応じた「退職報償金」を支給します。

■表彰

消防団活動の功労に対して、消防関係機関や新潟県知事、燕市長から各種表彰があります。

■制服などの貸与

制服・制帽・活動服などは、燕市から全員に貸与します。

地域貢献する消防団員にも、消防団をサポートする事業所にも、地域全体で支える制度があります。

県内店舗も消防団を応援

消防団員を地域全体で応援するとともに、消防団員が誇りを持って消防団活動に取り組むことができる環境を整備することを目的に、新潟県では「にいがた消防団員サポート制度」を設けています。

協力店舗で団員カードを提示すると、割引などのサービスの提供が受けられる制度です。

市内 25 店舗、県内では 725 店舗が協力店舗に登録されています（令和 5 年 9 月 25 日現在）。

県内には、3 万人を超える消防団員が活動しています。協力店舗にとっては、団員とその家族へのサポートと併せて、継続的な来店が期待できる制度です。

消防団員を応援する協力店舗は随時募集しています。



▲詳しくはこちら

事業所も消防団をバックアップ

企業に勤める団員が年々、増加しています。このような状況から、消防団員に入団しやすく、活動しやすい環境の整備には、事業所からの理解と協力が重要になります。

事業所との連携を促進するため、消防団と連携、協力している事業所を認定する制度があり、認定を受けた事業所には表示証を交付します。

市内では、現在、29 の事業所が認定を受けており、自社の地域貢献を対外的に PR でき、信頼性の向上が図られます。

また、認定された事業所への優遇制度として、新潟県や燕市が発注する建設工事において、入札審査、評価の評点に地域貢献度が加えられます。



消防団協力事業所表示証



えんどう ひろか
遠藤 裕香 さん（水道町四丁目）
女性分団（燕さくらファイヤーズ）
令和 2 年 12 月 1 日入団（3 年目）

本業は三条市内電機メーカーの技術部門社員。

親戚や知り合いに消防署員や消防団員がいて、勧められて入りました。

燕さくらファイヤーズは、男性団員と違い災害現場での活動は行わず、保育園や高齢者施設、商業施設、イベント会場などに出向いたり、お宅を訪問して、消防団の PR や火災予防、心肺蘇生の講習をしています。

PR イベントにはマスコットキャラクターの「つばまる」も登場しますので、みなさんの周りで見かけた時は、ぜひ近くまで寄ってきてください。

私自身は新潟市出身ですが、地域の人と交流ができ、地域貢献していると実感できることがうれしいです。定期的に行われる他市町村の女性消防団員との交流も楽しみの一つです。

女性団員は人数が少ないので全員と一緒に活動できることは楽しいですが、団員が増えて、もっと活動の場を広げられればと思っています。

地域貢献をしたい人、小さな子どもや高齢者の人と話すことが好きな人は、女性分団に向いていると思います。一緒に活動しませんか？



つばまと広報活動中の遠藤さん



かとう たかふみ
加藤 隆文 さん（佐渡山）
第 2 方面隊長
平成 20 年 4 月 1 日入団（16 年目）

本業は市内ハウスウェアメーカーの事務部門の部長。

地元の青年部の先輩から誘われたことがきっかけで入団しました。今では副方面隊長になり、団員が訓練する場で、指導する立場になりました。長く活動を続けられている理由は、もともと、大人数でワイワイすることが好きだったことと、家族の協力があったことです。家族にはとても感謝しています。

消防団の活動では、第 2 方面隊の管轄である吉田地区で火災などがあつた際は、仕事を抜けて現場に駆けつけます。会社の理解もあり、連絡を受ければ外せない用がない限りは、すぐに向かっています。

火災時の活動は、主に現場での交通誘導や市民の安全管理を行います。消火後に再燃しないよう現場に残っての見守りも行っています。

消防団の活動は楽とは言えませんが、生まれ育った地元を守っている使命感と、地元の人から感謝された時はやっていたよかったと感じます。

消防団に入るための予備知識は、必要ありません。入ってから教えてもらえます。体力もそれほど求められません。健康であれば大丈夫です。

特に若い人の入団をお待ちしています！



団員の指導にあたる加藤さん

私たちのまちを守っている消防団員に話を聞いてみました

消防団本部から団員募集のお知らせ

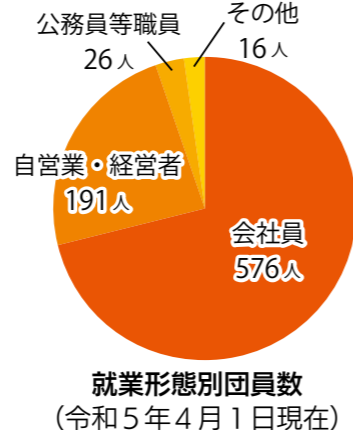
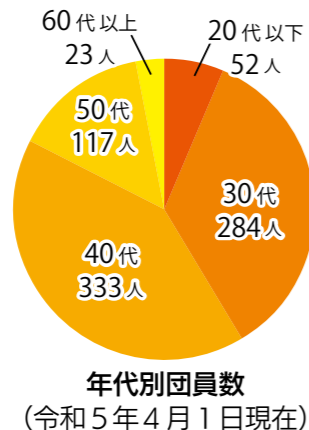
私たちのまちを守る消防団員を募集しています。燕市は、他の同規模の市と比べて団員数が多く、地域の安全を守る意識が高い地域性が伺えます。燕市消防団には、会社員や自営業、農家の人もたくさん所属しています。また、各年代の団員がいるので、皆さんと近い年代の人も活動しています。燕市に住む、燕市で働くあなたもバラエティーに富んだメンバーとぜひ、お気軽にお問い合わせください。女性団員も大募集中です！

入団できる人

- ・燕市内に居住、または勤務している人
- ・18 歳以上の人（学生も可）
- ・地元が好きで、健康な人

入団についての相談先

- 燕市消防団本部（消防本部警防課消防団係）
- 第 1 方面隊 燕地区（燕消防署）
- 第 2 方面隊 吉田地区（消防本部警防課消防団係）
- 第 3 方面隊 分水地区（分水消防署）



☎ 0256-0256
☎ 0256-0256
☎ 0256-0256
☎ 0256-0256
☎ 97926692
☎ 97926692
☎ 2688
☎ 1121
☎ 0119